

株式会社 肥後元気村

平成20年度
営業報告

第三セクター

当期は法人設立11期、指定管理者としての最終年度3期目に当たります。当年の社会状況は、食品業界に關しましては、産地偽装表示等改まらぬ状態のまま、また他方においては、一極集中的な投機マネーによつて例を見ない異常な原油高騰現象が起きました。また、サブプライムローンに端を発した世界不況は、当社も運営の合理

化を迫られる期間でありました。このような社会環境の中、施設提供サービス業の運営を主体として健全な経営をすることに努力致して参りました。結果は次のとおりとなりました。

『入館者』
交流センター 14万4千人
あばかん家 5万5千人

緑彩館 11万9千人
『売上高』
交流センター 58,140千円
あばかん家 24,561千円
緑彩館 112,519千円
営業部門 5,281千円
売上総利益は、107,422千円で、4,587千円の減少となりました。また、販売

費及び一般管理費は、経費の見直しや圧縮に努め、4,540千円の減となり、当期の税引前利益は、713,976千円となりました。

今後は、来館者の要望に沿つて、売上げの伸長に直結する様一層の力を注ぐと共に、当社の特徴・長所を伸ばしながら販売管理費等の効率化と併せて、利益の増加に努めて参ります。

貸借対照表 平成21年03月31日現在 単位:円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金および預金	5,786,949	買 掛 金	1,529,234
売 掛 金	1,042,474	未 払 金	3,700,864
棚 卸 資 産	3,226,521	未 払 法 人 税 等	182,500
貯 蔵 品	842,139	未 払 消 費 税 等	1,556,300
前 払 費 用	293,167	預 り 金	337,624
未 収 入 金	2,224,296	生 産 者 預 り 金	5,104,758
立 替 金	20,480	前 受 金	330,750
【流動資産合計】	13,436,026	【流動負債合計】	12,742,030
建 物	121,315	長 期 借 入 金	22,337,000
構 築 物	333,089	預 り 敷 金	2,000,000
機 械 ・ 装 置	89,485	【固定負債合計】	24,337,000
車 両 ・ 運 搬 具	266,725	負債の部合計	37,079,030
工具・器具・備品	3,341,778	純 資 産 の 部	
建物付属設備	1,474,356	科 目	金 額
一括償却資産	246,490	資 本 金	74,000,000
【有形固定資産合計】	5,873,238	【資本金合計】	74,000,000
電話加入権	126,440	利 益 準 備 金	1,500,000
【無形固定資産合計】	126,440	【利益準備金合計】	1,500,000
長期前払費用	1,184,392	積 立 金	1,000,000
【投資合計】	1,184,392	繰越利益剰余金	△92,958,934
【固定資産合計】	7,184,070	【その他利益剰余金合計】	△91,958,934
		【利益剰余金合計】	△90,458,934
		【株主資本合計】	△16,458,934
		純資産の部合計	△16,458,934
資産の部合計	20,620,096	負債・純資産の合計	20,620,096

損益計算書

自 平成20年04月01日
至 平成21年03月31日 単位:円

科 目	金 額
交流センター売上高	58,140,137
あばかん家売上高	24,560,957
緑彩館売上高	112,519,390
営業売上	5,281,467
売上値引等	△3,810
売上高合計	200,498,141
期首棚卸高	2,441,939
商品仕入高	83,054,162
材料仕入高	10,806,836
期末棚卸高	△3,226,521
売上原価合計	93,076,416
売上総利益(損失)	107,421,725
販売費及び一般管理費合計	106,561,700
営業利益(損失)	860,025
受取利息割引料	12,657
雑 収 入	454,747
営業外収益合計	467,404
支払利息割引料	610,699
雑 損 失	2,754
営業外費用合計	613,453
経常利益(損失)	713,976
税引前当期純利益(損失)	713,976
法人税及び住民税	182,500
当期純利益	531,476

販売費及び一般管理費

自 平成20年04月01日
至 平成21年03月31日 単位:千円

科 目	金 額
役 員 報 酬	812
給 与 人 件 費	51,316
従 業 員 賞 与	367
法 定 福 利 費	4,148
福 利 厚 生 費	580
支 払 報 酬	756
施設管理委託費	4,386
清 掃 衛 生 費	3,625
旅 費 交 通 費	26
通 信 費	1,102
容 器 包 装 費	683
交 際 接 待 費	135
広 告 宣 伝 費	1,180
販 売 促 進 費	255
発 送 配 達 費	377
租 税 公 課	79
新 聞 図 書 費	144
事 務 用 品 費	681
備 品 ・ 消 耗 品 費	2,826
電 気 光 熱 費	23,199
修 繕 費	1,466
車 両 費	1,328
支 払 手 数 料	677
賃 借 料	4,868
保 険 料	784
減 価 償 却 費	609
寄 付 金	5
雑 費	147
【販売費及び一般管理費合計】	106,561

貸借対照表 平成21年03月31日現在 単位:円

資 産 の 部			負 債 の 部		
現 金	1,363,639		買 掛 金	1,486,105	
預 金	35,389,773		未 払 金	16,308,008	
売 掛 金	1,304,283		法 人 税	1,278,600	
商 品	481,112		預 り 金	311,305	
貯 蔵 品	1,144,107		消 費 税	1,102,100	
未 収 入 金	2,497,536		商 品 券	76,600	
流 動 資 産 計	42,180,450		流 動 負 債	20,562,718	
建 物	10,466,570		預 り 保 証 金	8,366,000	
付 属 設 備	993,484		固 定 負 債	8,366,000	
車 両 運 搬 具	23,811				
工 具 備 品	648,657		負 債 合 計	28,928,718	
リ ー ス 資 産	2,145,000				
差 入 保 証 金	300,000		純 資 産 の 部		
リサイクル預託金	14,110		株 主 資 本	28,923,921	
固 定 資 産 計	14,591,632		資 本 金	65,000,000	
フランチャイズ料	622,223		利 益 剰 余 金	△36,076,079	
下 水 道 負 担 金	458,334				
繰 延 資 産	1,080,557		純 資 産 合 計	28,923,921	
資 産 合 計	57,852,639		負 債・純 資 産 計	57,852,639	

損益計算書

自 平成20年04月01日 単位:円
至 平成21年03月31日

科 目	金 額
物 産 売 上	200,166,692
実 演 売 上	20,904,206
温 泉 売 上	15,995,520
そ の 他 売 上	10,067,140
売 上 高	247,133,558
期 首 棚 卸 高	412,934
仕 入 高	160,517,724
期 末 棚 卸 高	481,112
売 上 原 価	160,449,546
売 上 総 利 益	86,684,012
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	86,237,348
営 業 利 益	446,664
受 取 利 息	59,134
受 取 家 賃	4,944,769
雑 収 入	521,934
営 業 外 収 益	5,525,837
営 業 外 費 用	
雑 損 失	10,791
経 常 利 益	5,961,710
法 人・住 民・事 業 税	1,278,600
当 期 純 利 益	4,683,110

販売費及び一般管理費

自 平成20年04月01日 単位:千円
至 平成21年03月31日

科 目	金 額
役 員 報 酬	2,400
給 与 手 当	28,798
雑 給	2,758
賞 与	2,296
法 定 福 利 費	3,197
福 利 厚 生 費	529
交 通 費	116
通 信 費	490
交 際 費	240
減 価 償 却 費	1,637
賃 借 料	10,148
保 険 料	472
修 繕 費	2,346
光 熱 費	18,827
燃 料 費	493
消 耗 品	2,834
維 持 管 理	2,250
寄 付 金	15
繰 延 資 産 償 却	240
雑 費	247
そ の 他	5,904
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 計	86,237

平成20年度につきましては、第1期指定
管理者制度適用の最終年度にあたり、恒
常的な黒字化体質の構築を目的とし、事
業の部門別方向性を明確化することや事
業個別の特色を生かした営業施策を展開
いたしました。

平成20年度の営業収入は、全事業で
247,133千円、収入構成は、物産販

売部門200,167千円(81.0%)、温泉
部門15,995千円(6.5%)、実演部門
20,904千円(8.4%)、カヌーその他部
門10,067千円(4.1%)となりました。

管理コスト面におきましては、人員削減
による人件費の抑制を行い、その余剰金の
一部を従業員のベースアップに充当し従業
員の生産性意欲の向上を図りました。ま

た、原油高による光熱費増加分を補うた
め、燃料消費の細かい管理や施設維持管
理費の自助努力による抑制を行ったこと
により、管理コストを2.4%削減するこ
とができました。

結果、年度末におきまして営業損益で
446千円、経常損益で5,961千円の
利益を確保しました。

財政状況

